

総会ごあいさつ

松山中学・松山東高同窓会
会 長 豊島 吉博

松山中学・松山東高同窓の皆さん、平成29年度同窓会総会によろこそいらっしやいました。年代を越え、元気に、笑顔で集まっていたいただき、ありがとうございます。日頃は、其々にご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、同窓会活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。久しぶりの集いを楽しんでいただければ幸いです。

さて、この3月に松山東高を卒業した350人（男子180人、女子170人）が、新しい仲間として同窓会に入会しました。フレッシュな後輩たちを温かく迎えるとともに、できるだけの応援をしていきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

一方、今年から同窓会の新しい支部として、中国支部（事務局：広島）を設置します。中国地域に在住の同窓が対象となります。今秋の正式発足に向けて、現在、関係者が準備中です。関東、近畿、東海に続き4番目の支部誕生となります。知り合いの方がいれば、参加を呼び掛けてください。

本日は、総会前に、同窓同期の正岡子規、柳原極堂と関係の深い夏目漱石の三人の生誕150年を記念して、子規記念博物館の竹田美喜館長（昭和39年卒）が、母校と三人の関係と意義について講演、その伝統を受け継いでいる東高の俳句部員たちが“模擬俳句甲子園”を行い、盛り上げてくれました。

総会は、今年から議事の簡素化を目標に、事前の役員会で審議、承認を得て、平成28年度事業・決算・監査報告、平成29年度予算、平成29・30年度役員（以上案）を一括上程させていただきました。各項目詳細は、配布資料に記載しておりますので、ご一読の上、ご理解ご了承ください。

今年度の主な活動は、4委員会（総務・財務・広報・事業）を中心に①財政安定化（収入増＝会費・広告など＝、経費節減）②総会の簡素化と充実③会員の研鑽と交流を目的とした“がんばっていきましょい会”の発足④会員ネットワークの拡大⑤“明教48号”発刊⑥広報活動促進（ホームページ活用など）⑦松山中学・松山東高創立140周年（平成30年）記念事業準備⑧年度幹事不在年解消対策などを展開する予定です。

最後になりましたが、今年も、同窓会の使命であります同窓の交流促進と発展、母校と後輩の支援発展のため、全力を傾注してまいります。同窓の皆さまのより一層のご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。